

オリンピック・パラリンピック担当

1 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

予算科目(款・項・目) 10・05・40 [決算書105ページ]

ラグビーワールドカップ2019™日本大会(以下「ラグビーワールドカップ2019」という。)、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」という。)を契機として、調布市基本計画や調布市総合戦略と連動した様々な角度からの取組を、東京都や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、近隣市、関係団体など多様な主体と連携・協働し、市のまちづくりへの効果とレガシーを創出し、多摩地域全体の振興につなげていくもの

(1) 「2020年に向けた調布市の取組方針」を踏まえた「2020年に向けた調布市アクション&レガシープラン」の推進

東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019に向けた取組の基本的な考え方や大会後のレガシーを見据えた取組の方向を明らかにするものとして平成28年7月に策定した

「2020年に向けた調布市の取組方針」の具現化を図るため、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のアクション&レガシープランと連動した「調布市アクション&レガシープラン」を推進した。

(2) 調布市2019-2020プロジェクト全体会議

ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会の開催に向けて、この好機を逃すことなく最大限に活用し、市、市議会、市内関係機関等が丸となり、「オール調布」の視点に立った取組が進められるよう、大会関連情報等を共有し、大会準備及び多くのゲストを迎えるおもてなしの充実につなげることで、有形・無形のレガシーを創出し、調布のまちの更なる発展・魅力向上を図ることを目的として、平成30年8月21日に設置した。

ア 所掌事項

- (ア) オリンピック等に関連する関係者間の情報共有及び連絡調整に関すること
- (イ) オリンピック等の開催を契機とした地域の取組の促進に関すること
- (ウ) オリンピック等の大会機運の醸成に関すること
- (エ) (ア) から(ウ) までに掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

イ 開催日

- (ア) 第6回 令和3年7月13日(書面開催)

内容 市の取組等の状況に関する報告

- (イ) 第7回 令和4年3月23日(書面開催)

内容 総括

※ 第1回及び第2回は平成30年度、第3～4回は令和元年度に実施(第5回は令和元年度に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

ウ その他

東京2020大会の終了に伴い、令和4年3月31日をもって解散

(3) 東京2020大会に向けた機運醸成に関する取組

ア カウントダウンに係る取組

- (ア) 東京2020大会100日前に関する取組(100Days to Go!)

実施日 令和3年4月14日から同年5月16日まで

実施場所 市役所 2階エントランス, 文化会館たづくり 1階エントランスほか

実施内容 オリンピック・パラリンピックに関するアート等の展示, SNSによる
100Days to Go! 関連の投稿

(イ) 東京2020大会開催カウントダウン

東京2020大会100日前を皮切りに, 市ゆかりのスポーツ選手や障害者施設通所者, 市内学童クラブなど, 市内の様々な方の協力を得て, カウントダウンを実施した。カウントダウンは全49回にわたり, ホームページやSNSに掲載した。

(ウ) 東京2020大会50日前に関する取組 (50Days to Go!)

実施日 令和3年6月3日から同年7月5日まで

実施場所 市役所 2階エントランスほか

実施内容 オリンピック・パラリンピックに関するアート等の展示, SNSによる
50Days to Go! 関連の投稿

イ シティドレッシング

東京2020大会の機運醸成を目的として, 市内各所に大会統一デザインである「コアグラフィックス」や「マスコット」などを用いた装飾を実施した。

(ア) 主な装飾

a 街灯バナーフラッグ (市庁舎前庭, 調布駅前広場, 仙川駅周辺)

b エレベーター扉装飾シート (市庁舎1~8階)

c プランターカバー (市庁舎, 京王多摩川駅前さくら広場)

ウ その他

(ア) 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ展示

実施日 令和3年6月22日

実施場所 市役所前庭

(イ) 東京2020パラリンピック競技大会 報道写真展

実施日 令和3年8月25日から同年10月14日まで

実施場所 市役所 2階エントランス, 文化会館たづくり 1階エントランス

(4) 調布市おもてなしボランティア

ラグビーワールドカップ2019, 東京2020大会に向け, 平成30年度末に調布市独自ボランティアとして募集した。大会期間中の交通・観光案内や, コミュニティライブサイトでの運営補助など, 国内外からのゲストに対するおもてなし全般を予定していたが, 新型コロナウイルス感染症の影響により, 東京2020大会中に予定していた全ての活動を中止とした。

ア 登録人数

282人 (令和4年4月1日現在)

イ 大会後の対応

大会後も地域のボランティア文化を支える担い手として活動いただけるよう説明会を開催し, 市内のボランティア活動を紹介

(5) 他自治体と連携した主な取組

ア 東京都市町村ボッチャ大会

都内27自治体が連携し, 令和4年1月23日に東京都市町村ボッチャ大会2022を開催する方向で準備を進めていたが, 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

イ 府中・調布・三鷹ラグビーフェスティバル2021

(ア) 実施日 令和3年11月20日

- (イ) 実施場所 味の素スタジアムAGFフィールド
 - (ウ) 実施内容 トレーニングマッチ, トークショーなど
- ウ 「JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」観戦事業

(ア) 実施日

- a 令和4年1月8日
- b 令和4年3月19日

(イ) 実施場所

- a 味の素スタジアム
- b 秩父宮ラグビー場

(ウ) 内容 ラグビーリーグワンの試合に調布市, 府中市, 三鷹市の市民の無料招待を実施

- a 東京サントリーサンゴリアスVS東芝ブレイブルーパス東京
- b 東芝ブレイブルーパス東京VSクボタスピアーズ船橋・東京ベイ

エ 多摩8市連携事業

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースにおいて, 都内通過自治体である多摩8市(府中市, 調布市, 三鷹市, 小金井市, 稲城市, 多摩市, 八王子市, 町田市)で広域的に連携した事業を実施

(ア) 日程 令和3年6月19日から7月18日まで

(イ) 内容 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース体験イベント「東京8市 Smile Road Project」

オ 東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会

東京2020大会に関して, 情報共有を図るとともに, 各市との連携, 東京都などの関係機関との連絡調整を図ることを目的として, 平成27年11月25日に東京都市長会の附属協議会として設立した。協議会の下部組織として, 連絡調整担当課長会が設置された。

(ア) 所掌事項

- a 構成する26市のオリンピック・パラリンピックに関する情報共有, 意見交換
- b 東京都をはじめとする関係団体との情報共有, 意見交換

(イ) 委員構成等

26市

- a 協議会 各市のオリンピック・パラリンピック担当部長をもって組織
- b 担当課長会 各市のオリンピック・パラリンピック担当課長をもって組織

(ウ) 令和3年度役員体制

- a 幹事長市 町田市
- b 副幹事長市 立川市, 青梅市, 調布市, 小平市
- c 幹事市 八王子市, 三鷹市, 東村山市, 東大和市

(エ) 協議会 2回(令和3年4月, 令和4年2月)

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い, 書面開催

(オ) 担当課長会 3回(令和3年5月, 6月, 10月)

※ 5月については, 新型コロナウイルスの影響に伴い, 書面開催

2 聖火リレーに関する取組 予算科目(款・項・目) 10・05・40 [決算書105ページ]

東京2020オリンピック聖火リレー及び東京2020パラリンピック聖火リレーに関する各種取組を行うもの

(1) 東京2020オリンピック聖火リレー

都内におけるオリンピック聖火リレーは、令和3年7月9日から同月23日までの15日間にわたって全62自治体で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、同年7月9日から同月16日までの8日間における公道走行が中止となり、セレブレーション会場での点火セレモニーへ変更された。

ア 点火セレモニー

実施日 令和3年7月16日

※ 調布市の走行予定日は令和3年7月15日だったが、当日は、調布市以外は島しょ地域を走行する予定であったことから、同年7月16日に調布・三鷹・武蔵野市の3市で実施

場所 武蔵野陸上競技場（武蔵野市）

内容 市長挨拶，トーチ点火，聖火ランナーによるトーチキス，フォトセッション

イ 参考（当初予定されていた市内ルート）

市内通過日 令和3年7月15日

出発地 深大寺

到着地 調布駅前広場

ルート距離 約4キロメートル

(2) 東京2020パラリンピック聖火リレー

都内におけるパラリンピック聖火リレーは、令和3年8月20日から同月24日までの5日間にわたって23自治体で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、公道走行が中止となり、セレブレーション会場での点火セレモニーへ変更された。

ア 聖火フェスティバル

実施日 令和3年8月20日

(ア) 採火

深大寺の護摩祈願の火から「調布市の火」を採火

※ 採火した火を都内集火式（東京都庁都民広場）に持ち込んだ。集火式にて、都内全62自治体の火がひとつになり、「東京都の火」が誕生した。その後、全国集火式にて各道府県から採火した火が集められ、「東京2020パラリンピック聖火」となった。

(イ) 聖火ビジット

都内集火式後、「東京都の火」を市に持ち帰り、市内合計18か所（文化会館たづくり及び市内障害児・者施設等）にて聖火ビジットとして展示

イ 点火セレモニー

実施日 令和3年8月23日

場所 都立砧公園ねむの木広場（世田谷区）

内容 市長挨拶，トーチ点火，聖火ランナーによるトーチキス，フォトセッション

ウ 都内到着式

市とFC東京の連携事業であるFC東京あおぞらサッカースクールin調布がグループランナーとして参加

実施日 令和3年8月24日

場所 都立代々木公園陸上競技場（織田フィールド）

エ 参考（当初予定されていた市内ルート）

市内通過日 令和3年8月23日
出発地 西調布駅北口ロータリー
到着地 東京スタジアム前歩道橋
ルート距離 約1.5キロメートル

(3) 記録映像の制作

聖火リレーの調布市関連の取組の様子についてまとめた「東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー調布市記録映像」を制作

3 大会期間中の取組 予算科目(款・項・目) 10・05・40 [決算書105ページ]

東京2020大会期間中にオンラインを活用した取組等を中心に大会の盛り上げを図るもの

(1) オンラインを活用した取組

大会期間中にパブリックビューイングや競技体験を中心としたコミュニティライブサイトを調布駅前広場などで開催することを計画してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。その代替の取組として、5つのテーマ(サッカー、バドミントン、ホストタウン、ラグビー、パラリンピック)による動画コンテンツを配信した。

ア サッカー

(ア) 配信開始日 令和3年7月22日

(イ) 主な内容

第一部 調布市×FC東京コラボ企画トークショー

第二部 日本VS南アフリカ キックオフ直前トークイベント(東京2020公認プログラム)

イ バドミントン

(ア) 配信開始日 令和3年7月24日

(イ) 主な内容

第一部 NTTバドミントン部を知ろう!調布市×NTT東日本バドミントン部コラボ企画

第二部 東京2020大会 バドミントンイベント(東京2020公認プログラム)

ウ ホストタウン(サウジアラビア応援DAY)

(ア) 配信開始日 令和3年7月25日

(イ) 主な内容

ホストタウン自治体とこれまでの交流の紹介

サウジアラビアの方による「サウジアラビアをもっと知ろう」企画

サウジアラビア王国国歌斉唱 など

(ウ) その他

本事業は、内閣官房によるオリパラ基本方針推進調査事業として、調布市、岩手県大槌町、愛媛県新居浜市の3自治体が連携して実施

エ ラグビー

(ア) 配信開始日

第一弾 令和3年7月25日

第二弾 令和3年7月28日

(イ) 主な内容

第一弾 「大野均・真壁伸弥」スペシャルトークショー

第二弾 第一部 調布市×東芝ブレイブルーパスバル×サントリーサンゴリアス コラボ
企画

第二部 男子7人制ラグビー決勝直前トークイベント（東京2020公認プログラム）

オ パラリンピック

(ア) 配信開始日 令和3年8月21日

(イ) 主な内容

第一部 車いすバスケットボールを知ろう（東京2020公認プログラム）

第二部 「アート」の力で共生社会の実現へ

(2) 調布市応援アスリート事業

調布市応援アスリートから東京2020大会に出場した桃田賢斗選手、相馬勇紀選手、山崎悠麻選手、有安諒平選手の4人に向けて、出場選手応援横断幕等の設置、出場選手への応援メッセージの募集やホームページ、SNS、市報での取組など、応援のための様々な取組を実施した。

(3) 東京2020大会調布市民観戦事業

市内で開催される東京2020大会の6競技を中心に、市民に大会を観戦する機会を提供すべく、大会の観戦チケットを有償譲渡する市民観戦事業に向けて準備を進めたが、大会の無観客開催の決定によりチケットは無効となり、事業は中止となった。

4 レガシー関連の取組 予算科目（款・項・目）10・05・40 [決算書105ページ]

東京2020大会のレガシーを継承・発展させるための取組に関するもの

(1) 東京2020大会調布市報告書の発行

東京2020大会に関する取組はもとより、調布市アクション&レガシープランに掲げた各分野に関する取組を総括した報告書を発行

(2) 東京2020大会レガシー銘板の設置

東京2020大会の記憶を語り継ぐレガシー銘板を設置

ア 設置日

令和4年3月24日

イ 設置場所

飛田給スタジアム前歩道橋

ウ 主な内容

市内3競技会場において、6競技が行われたことを後世に伝える内容

エ サイズ・素材

盤面：高さ900mm×幅1200mm

素材：陶板

(3) 東京2020大会等を契機とした市庁舎装飾

ラグビーワールドカップ2019TM日本大会や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、市庁舎エレベーターや2階エントランスガラス、プランターカバー等を活用したPRを実施してきた。こうした市庁舎を活用したPRの取組については、市の魅力発信に資するデザインに変更することで、大会後もレガシーとして継続していく。

ア 装飾場所

市庁舎エレベーター、2階エントランスガラス、プランターカバー

イ 主なデザインテーマ

ＦＣ東京，共生社会（パラハートちょうふ），ラグビー，映画のまち調布，水木マンガの
生まれた街，観光，環境配慮，車いすバスケットボール

(4) 「スポーツ×共生社会」オンラインシンポジウム

東京２０２０大会が市内で開催されることを契機として，障害理解の促進や障害者スポーツ
の振興，バリアフリー化など，だれもが快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり
に向け，様々な取組を進めてきた。こうした取組を，「パラリンピックレガシー」として次代の
まちづくりに継承し，共生社会の更なる充実を図っていくことが重要と考え，「スポーツ×共
生社会」をテーマとして，様々なゲストと共に，オンラインでシンポジウムを開催した。

ア 実施日 令和４年３月２３日

イ 内容 「スポーツ×共生社会」シンポジウム～スポーツを通じた共生社会の充実に向けた
現在地と課題～

ウ 出演者

- (ア) 石川直宏（ＦＣ東京 クラブコミュニケーター）
- (イ) 廣瀬俊朗（元ラグビー日本代表キャプテン・株式会社ＨｉＲＡＫＵ代表取締役）
- (ウ) 豊島 英（元車いすバスケットボール日本代表キャプテン）
- (エ) 内田 佳（日本ブラインドサッカー協会職員・現役ブラインドサッカー選手）